

令和5年度 事業計画書

社会福祉法人 英寿会

目 次

1.令和5年度事業計画にあたって	2
2.法人事務局	3
3.特別養護老人ホームえぞりすの杜	3
雛芥子ユニット	
福寿草ユニット	
菜の花ユニット	
木蓮ユニット	
花菖蒲ユニット	
4.地域密着型介護老人福祉施設かっこうの杜	9
うぐいすユニット 目標	9
ひばりユニット 目標	10
あおさぎユニット 目標	10
5.各部門別	
看護部門 目標	11
支援・相談部門 目標	12
機能訓練部門 目標	13
栄養部門 目標	13
英生塾	15
6. ショートステイクまげら	17
7.小規模保育施設ふくろうの森・ぞうさんハウス・あかとんぼの森	18

1.令和5年度事業計画にあたって

安心・安全 地域と共に

理事長 野呂 英行

令和5年度社会福祉法人英寿会 目標

1. 利用者目線でのサービスの質向上と価値創造
2. 社会福祉法人としての使命の追及
3. 職員一人ひとりの成長とリーダーの育成
4. 法人内のガバナンス強化

中期事業目標・計画に基づき、令和5年度事業目標計画を策定します。

最良のサービス提供のために最も重要なポイントは、「人」であり、最重要課題とし、職員が長く働き続けられ成長し続ける環境を整備することが求められています。

英生塾は、英寿会の現職職員が講師になり、現場の経験を交えながらの独自の講義を展開しつつ、知識・技術を身に付け、人間性豊かな人材の育成を行なっております。介護職に対する学生のニーズは年々厳しくなりますが、その変化に素早く対応すべく福祉人材育成事業を展開してまいります。

2. 事務局

令和5年度社会福祉法人英寿会事業目標を事務局の目標とし、具体的な目標を掲げる。

事務局の具体的な目標

1. 法人の顔として窓口・電話対応等接遇に努めてまいります
2. 人づくりを基本的な考えとして、職員を守る事務局を組織します。
3. 職員の処遇を改善し、研修の充実とサービスの向上を図ります。
4. 社会福祉法人における財務管理の透明化に努めます。

法人理念のもと、地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考えており、更なる透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動(自治会活動)の実践を推進して参ります。

3. 特別養護老人ホームえぞりすの杜

[えぞりすの杜及びかっこうの杜共通事項]

社会福祉法人としての目的・使命を再確認し、法令順守・説明責任等による法人経営の透明性の確保と経営基盤の強化、福祉サービスの質の向上、人事管理・人材育成等といった経営に関する課題整理とその対応が必要となっております。一方において社会福祉法人は、地域福祉の担い手として多様な福祉ニーズに応えるべく、事業の多様化・多角化を図っていくことも期待されています。

コロナ禍で閉鎖的であった状態を本来あるべき姿に戻すべく、入居者家族とのコミュニケーションを密にし、感染対策を実施しながら透明性のある施設にする事を優先事項とし、地域との連携・貢献できる施設の姿を構築していきたい。

また、物価上昇に伴う、コスト削減・無駄を削減する取り組みも継続していくと共に、人を守ることを念頭に取り組みを実施していく。

【運営方針】

明るく家庭的な環境、地域や家庭との結びつきを重視した中で、入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立ち、自律的な日常生活を営むことが出来るよう支援します。

【施設理念】

「共に暮らし 共に笑い 共に生きる喜びを」

【介護課理念】

「笑い・感謝・思いやり」

- ・「笑い」～笑って過ごす時間を大切に
- ・「感謝」～全ての想いに感謝
- ・「思いやり」～その人を想う心

【介護課目標】

- ・理念の浸透
- ・専門職としての知識・ケアの質の向上
- ・風通しの良い職場環境作り
- ・多職種連携を図り、自律支援を目指す
- ・報告、連絡、相談の必要性の理解・周知徹底

【事業・運営計画】

1. 入居者の尊厳を守る

- ① 看取り介護を視野に入れ重度高齢者に対する知識・技術を深め、終生施設としての特養の在り方を実践していく。
- ② 入居者(ご家族)満足度調査実施と評価を基に、利用者が求めるニーズを探求しケアの実践を図る。
- ③ 入居者がその人らしい生活を送って頂けるようケアマネジメントの充実を図ります。

2. 入居者が安心して安全な生活を送れるケアの実践

- ① 入居者が満足した生活を送れるよう、個別ケアの充実を図ります。
- ② 介護・看護の連携により、医療ニーズの高い入居者も安全で安楽な生活ができるケアの実践。
- ③ リスク管理を行い、事故の発生率を低減する。

3. 認知症ケアの向上

- ① 認知症高齢者の生活に対応すべく、環境整備を実施する。
- ② 認知症ケアに関する知識を高める為、認知症の勉強会を実施します。
- ③ 認知症ケアの専門性を高める為、外部研修に職員を積極的に参加させます

4. 地域との連携・貢献

- ① 地域活動・行事への積極的な参加を行います。
- ② 地域自治会や地域住民、各団体との連携を強化し、地域との交流を活性化する。
- ③ ボランティア受け入れ体制の充実を図る。

- ④ 地域住民の方々にも参加頂ける施設行事・勉強会を開催します。
- ⑤ 各種会議活動等の受け入れを勧め、地域の資源として施設を広く活用して頂けるよう積極的に協力する。
- ⑥ 施設広報誌を作成し、積極的な外部発信を行う。

5. 人材育成

- ① 職員同士がお互いを認め合い、高め成長できる職場風土を作る。
- ② 職員満足度調査を実施、評価し人材育成・キャリアアップに繋げる。
- ③ OJT・Off-JTの年間計画の立案と実施。
- ④ 自己目標設定シートを実施、評価し、職員のモチベーションアップに繋げる。
- ⑤ グループ法人との連携により、福祉人材の育成を図る。

6. 施設行事

施設行事として季節を感じられ五感を刺激できる行事やイベント、ご家族様や地域の皆様にも楽しんで頂けるよう提供します。

時期	行事	内容・目的
7月	花火大会	各種花火を準備し、入居者様がなつのひと時を楽しめるよう演出していきます。
8月	夏祭り又は縁日	ご家族様や地域住民の方が参加して開催出来ないか模索し、家族と入居者の方が一緒に楽しめるよう検討します。
9月	敬老会	お祝い饅頭や記念品をお渡し皆様のご長寿をお祝いします。
10月	縁日(予備)	7月に夏祭り、縁日が出来なかった場合の予備
12月	クリスマス会	当法人の保育園児達がお遊戯や歌を披露し入居者様との交流を楽しみます。
2月	節分	鬼に変装した職員が各ユニットを周り、入居者様と共に季節を感じながら楽しみます。

*この他、各ユニットで、年間行事を計画しております。

7. 施設内研修

職員の知識・技術の向上を目指すとともに、ご家族様や地域の皆様など、誰もが参加して頂ける研修体制を整えます。

時期	研修名	内容等
4月	新人職員研修	法人理念の理解・方向性・取り組みなど説明を行います。
5月	接遇研修	入居者様やご家族に対する接遇について研修を行います。
	介護倫理	介護職としての倫理について研修を行います。
	医療機器について	施設にある医療機器の操作方法・緊急時の対応について研修を行います。
6月	感染対策委員会①	感染防止に向け、委員会発信で研修及び訓練を行います。
	コミュニケーション	入居者及び家族、職員間のコミュニケーションについての研修を行い、チーム力向上に繋がれるよう取り組みを行います。
7月	身体拘束廃止委員会①	身体拘束廃止について、委員会発信で研修を行います。
	虐待防止委員会①	虐待防止について、委員会発信で研修を行います。
8月	事故防止委員会①	事故防止に向け、委員会発信で研修を行います。
	個別ケア研修	個別ケアの必要性・重要性についての基本的な智識などについて研修を行います。
	避難訓練	災害を想定した訓練と消火訓練を行います。
9月	褥瘡対策委員会①	褥瘡対策について委員会発信で研修を行います。
	感染対策委員会②	感染防止に向け、委員会発信で研修及び訓練を行います。
10月	認知症ケア研修	認知症について研修を実施します。
	各症状の対応について	高齢者に多い疾患や症状、観察ポイントや予防・対応方法について研修を行います。
11月	身体拘束廃止委員会②	身体拘束廃止について、委員会発信で研修を行います。
	虐待防止委員会②	虐待防止について、委員会発信で研修を行います。
12月	感染対策委員会③	感染防止に向け、委員会発信で研修及び訓練を行います。
1月	事故防止委員会②	事故防止に向け、委員会発信で研修を行います。

2月	褥瘡対策委員会②	褥瘡対策について委員会発信で研修を行います。
	感染対策委員会④	感染防止に向け、委員会発信で研修及び訓練を行います。
	避難訓練	夜間を想定した訓練と通報訓練を行います。
3月	認知症ケア研修	認知症について研修を実施します。
	ユニットケア研修	ユニットケアについて研修を行います。

8. コスト削減に関する取り組み

項目	取り組み内容等
稼働管理	入居状況、空室状況を把握し、稼働率の向上に向け迅速に対応します。
物品破損	不注意や環境整備不足による破損を無くし、取り扱い方法の確認、周辺環境整備の確認を随時行います。また、破損理由などを分析・共有し再発防止を防ぎます。
消耗品の適切な利用と管理	物品や消耗品について精査を行います。在庫管理の把握に努め、適切量を無駄のないように使用します。

【雑芥子ユニット目標】

「一人一人にあったケアの統一と実践～安心(信頼)・笑顔のある生活を～」

＜ユニット方針＞

- ・利用者が季節感を感じやすい空間づくり
- ・気遣い心遣いを忘れない
- ・職員同士が信頼し合って報連相を行える環境づくり

＜実施内容＞

- ・季節感を感じられる空間づくり利用者目線で計画・実施
- ・職員一人一人のモチベーションを高める
- ・疑問に思ったことは即相談、他職種と情報共有し良いサービス提供を行う
- ・職員同士が信頼し合ってしっかりと報連相を行う(一人で抱え込まない事)
- ・笑顔で挨拶を心がける
- ・日々の利用者の状況共有
- ・みんなが気持ちよく過ごせるように思いやりや気配りをする

【菜の花ユニット目標】

「入居者様一人一人が自分らしく生活できるよう寄り添い支援していきます」

《ユニット方針》

- ・ご本人様に寄り添い自分らしく生活できる
- ・職員の知識、技術向上に努める

《実施内容》

- ・入居者様の思いを汲み取りながら支援していく
- ・入居者様に楽しんで頂けるようレクリエーションの企画を行う
- ・ご家族様との情報共有をしていきます
- ・職員間での申し送りノートなど活用し情報の共有に努めます

【福寿草ユニット目標】

「利用者様が穏やかで楽しく過ごせる明るいユニット」

＜方針＞

- ・過ごしやすいユニット作り
- ・日々の関わりから変化に気づき、その時・その方に適したケアの実践

＜内容＞

- ・レクリエーションの実施(夏場の外出等)
- ・職員は、走らない・穏やかな環境を提供できるよう、声の大きさ、トーン等に配慮する
- ・利用者とのコミュニケーション
- ・洗濯物等、利用者と一緒に行動
- ・日々の観察、職員同士の情報共有、相談、他職種との相談、情報共有

【木蓮ユニット目標】

「入居者様が安心して穏やかに過ごされ、暮らしの中に笑顔が見られるよう支援し、ご家

族様に信頼して頂けるユニット」

＜ユニット方針＞

- ・入居者様が安心して生活できるよう、寄り添う気持ちを大切にされた支援を心掛ける。
- ・入居者様に合った、QOLを意識した支援を心掛ける。
- ・ご家族様へのこまめな情報提供を心掛け、信頼して頂ける関係作りをしていく。

＜実施内容＞

- ・入居者様と関わる際は、笑顔で安心して頂ける話し方をしていく。
- ・入居者様と関わりを持つ中での気づきを共有し、入居者様の状況に合った支援を統一し提供していく。
- ・他職種を含めた職員間での情報交換を密にし、統一したケアを行っていく。
- ・ご家族様に情報提供する際は、日々の様子とともに具体的な生活をお伝えし、安心して頂けるような言葉をお伝えしていく。

【花菖蒲ユニット目標】

「ひとり、ひとりが自分らしく過ごせるように支援していきます」

＜ユニット方針＞

- ・入居者様が安心できる声掛けや一人、一人に適した支援を行います。
- ・他職種と連携し入居者様の日々の変化に気づけるよう努めます。
 - ・職員の知識・技術の向上を図る。

＜実施内容＞

- ・入居者様の意思を確認しながら生活支援を行う。
- ・職員、他職種間で常に情報を共有し報告、連絡、相談行う。
- ・入居者様の変化に気づき、心身状況に合わせたケアを行う

5. 地域密着型介護老人福祉施設 かつこうの杜

【うぐいすユニット 目標】

「入居者様と職員が共に笑顔で過ごせるユニット」

《ユニット方針》

- ・入居者様との関わりを大切にし、穏やかに過ごせるよう努めます。
- ・ご家族様と情報共有をし、入居者様のケアを共に考えていきます。
- ・体調等日々の変化に早めに気づける様観察し、多職種との連携を図ります
- ・行事・レクリエーションを通し、入居者様それぞれに合わせた楽しみや身体機能の維持に努めます。

《実施内容》

- ・スタッフ同士のコミュニケーションを密に行い情報を共有しケアの統一に努める。
- ・入居者様と関わる際には笑顔を意識し安心できるような声掛け・関わり方に努める。
- ・多職種とも情報共有を意識し、話し合いを行い、それぞれに合わせたケアや関わりに努める。
- ・業務の見直しを図り気持ちに余裕を持ってケアを行えるよう努める。
- ・ご家族様へ来設時や広報を通して日頃の様子を伝える。
- ・入居者様と共に楽しめる行事やレクリエーションを企画実施する。

【ひばりユニット 目標】

「 個々の状況、状態を把握し、その人らしさを支える介護の実施を行う 」

《ユニット方針》

- ・他職種との連携を密にし、統一したケアを実践する。
- ・入居者様の変化に気付き寄り添うケアに努める

《実施内容》

- ・個々についての状況・状態把握の為、ユニット職員、他職種で連携を図り、その人らしさを見つける
- ・日々検討・新しい取り組み(その人にとって出来る事、出来そうなこと、興味のある事)を考え改善、実践していく。
- ・個々にとっての生活が何が良いのか、何を求めているのか見極められるように意識しながら支援に努める。

【おおさぎユニット 目標】

「 初心に戻り、気を引き締めてケアを行う 」

《ユニット方針》

- ・色々な視点から観察してケアの向上を目指す。
- ・苦手なところや不足している部分をお互いに伝えることができる
- ・日々職員同士でコミュニケーションを図ることで普段から言えないようなことも言える雰囲気を作る

《実施内容》

- ・他部署の意見を取り入れることによってより良い、ケアを実施できるようにする
- ・リーダーが中心となり職員とのコミュニケーションを図り、円滑な業務ができるようにする

6. 各部門別

【看護課 目標】

「入居様の健康管理に努める」

《基本方針》

- ・日々の入居者様の健康状態を把握し、異常の早期発見に努め、ご家族様入居者様が安心して暮らしていただける看護を提供いたします。
また 両施設の連携を強化します。

《実施内容》

1. 入居者様の健康管理に努め協力医療機関・他科の医療機関との連携を図ります。
 - ①入居者様の健康状態を把握し、異常の早期発見に努めます。
 - ②医師の在診時による診療を行います。
 - ③体調不良や緊急時には、協力医療機関との連携をとり対応します。
 - ④夜間、オンコール体制で緊急時には駆けつけ対応します。
 - ⑤健康診断(年2回)の実施、インフルエンザと新型コロナウイルスの予防接種を行います。
 - ⑥ショートステイ緊急時・事故発生時の医療機関の対応を生活相談員と連携し行います。
2. 多職種との連携を図ります。
 - ①サービス担当者会議・カンファレンスの参加により情報共有し個別ケアに繋がります。
 - ②各部署との連携を密にし、報告・連絡・相談の徹底を図ります。
3. 感染委員会との連携を取り施設内の感染対策に取り組みます。
 - ①感染マニュアルの見直しと、感染発生時の対応について整備を行います。
 - ②実施に向けた勉強会や啓蒙活動を通し、職員の意識や知識の向上を目指します。
 - ③施設内の衛生管理の徹底を図ります。
 - ④新型コロナウイルス感染対策マニュアルの周知徹底を施設全体へしていきます。
 - ⑤新型コロナウイルス感染時や日常業務における感染対策の実践を行います。
 - ⑥新型コロナウイルス感染対策の取り組みを施設全体で検討していきます。
4. 褥瘡委員会と連携を取り予防対策の強化を図ります。
 - ①発生時にはカンファレンスの実施、褥瘡の治療・ケアについて話し合い、一日も早い回復に向けた取り組みをします。
 - ②日々の予防対策(ポジショニング・スキンケア・排泄用品の見極め)について介護職員と取り組んでいきます。
5. ご家族様とのコミュニケーションを図り、健康状態を共有いたします。
 - ①面会時など、日頃の健康状態について情報提供しご家族様の思いを確認しながら対応していきます。

- ②受診時の報告、他科受診の対応などを確認し情報共有いたします。
6. 介護職員が安心したケアが実践できるよう、医療知識の助言・指導を行います。
- ①引継ぎなどで、個々の入居者様の健康状態や医療知識を提供します。
- ②疾病や日々の観察ポイントと対応について助言します。
- *夜間の対応などは、引継ぎの中で伝えていきます。
- *疾病や介護職員ができる対応などの勉強会の開催。
- ③ユニット会議などに参加し医療情報の発信と助言を行います。
7. 両施設の連携を強化していきます。
- ①えぞりすの杜、かっこうの杜の情報共有を毎朝及び随時行い、連携していきます。
- *ナース会議や日々の情報発信を行い、共有認識を持ち対応します。
- *問題点・課題等を整理し連携の強化に努めます。

【支援相談部門 目標】(生活相談員・介護支援専門員)

「入居者様や家族が安心して過ごせる場を提供出来るよう橋渡しをしていく」

《基本方針》

- ・安定した施設運営の為、年間入居稼働率:96%、ショートステイ年間稼働率:85%を目指す。
- ・入居者が適正な介護度でサービスを受ける事が出来るよう、介護度の管理とケアプランの検討を行う。
- ・施設と地域の繋がりを大切に、町内会のゴミ拾いや隣接する中学校との関りを模索する。

《実施内容》

- ・コロナ禍で外部の事業者との顔の見える関係でない状況にある為、感染状況を勘案しながら定期的(3カ月に1回)に営業を効率的(えぞりす相談員:江別市外、かっこう相談員:江別市内)に行い、施設の特徴を発信していく。
- ・外部事業者、家族から相談があった際は、迅速に対応し入居申し込みへ繋げていく。
- ・空床が発生しそうな時には、事前に次の入居者候補を速やかに2~3名選出し訪問調査を実施し空床発生時に備え、空床が発生した際には限りなく空床期間を短くし次の入居に繋げる。
- ・面会時やケアプラン作成時、家族の意向やプラン内容を説明していく中で、ご本人の様子等を伝える事で、家族からの要望や気持ちを聞いた際には、ユニットへその気持ちを伝えケアに反映していく。
- ・客観的な立場から他職種と情報交換を行うと同時に、自らもケアを実施することで入居者1人1人の状態をより把握でき、根拠に基づくケアが実践出来、家族にも発信できるよう、働きかけを行っていく。
- ・町内会のゴミ拾いや野幌中学校との関りを深められるよう、コロナ禍でもできる交流を検討し発信していく。

【機能訓練部門 目標】

「心身機能の維持・向上」

《基本方針》

- ・ご本人様、ご家族様の希望や想いを念頭に置き、機能面・意欲の低下、廃用性症候群を防止し、自律支援・日常生活動作(ADL)の向上を目指します。

《実施内容》

- ・ユニット会議に参加し、入居(利用)者様に対してユニット内の考えを聞き、個々にあった機能訓練計画を作成していく。
- ・入居(利用)者様が日常生活で必要なリハビリを暮らしの中で簡単にできるように提供していく。
- ・入居(利用)者様の心身状況に合った集団・個別訓練を提供していく。
- ・入居(利用)者様が不安なく穏やかに生活して頂けるように、コミュニケーションを取っていき、良い関係性を築いていく。
- ・二次的障がいの予防に努め、関節拘縮等を防止する事で入居者及び職員双方が介助しやすい、されやすい状況を維持し、穏やかな気持ちで生活が送れるように、環境に配慮していく。
- ・外部研修や講習会などに積極的に参加し、スキルアップを目指す。

【栄養部門 目標】(管理栄養士・厨房)

《基本方針》

施設理念のもとに、江別の食材を使用し、地産地消を行って参ります。

入居されているの皆様にとって食事は健康保健上欠かせないものであり、かつ三大欲求の一つとして最大の楽しみと考える。そのため、年間行事食・嗜好を取り入れた献立・見た目にもおいしい食事を楽しめることを配慮した食事サービスを提供する。

栄養管理

- ・入居者様の栄養状態・嚥下状態等に基づいたお食事内容を多職種と検討し、栄養状態の改善・維持を図ります。栄養ケア計画書を作成し、ご家族様に説明して入居者様の状態を把握して頂けるよう努めていきます。
- ・医師の指示のもと、入居者様の疾患に応じた療養食を提供してまいります。
- ・生活を穏やかに過ごされる支援の一環として、入居者様の状態に応じ、経口摂取の継続の手助け等を行って参ります。

給食管理

- ・入居者様の嗜好を把握して献立に反映させていきます。
- ・地元の新鮮食材を積極的に活用し、地域に根差した給食運営を目指します。

- ・食事にて四季を感じていただけるよう、季節の食事・行事食を提案いたします。
- ・厨房職員がユニットを巡回し、入居者が実際に食べ、介助されているのを見ることが調理過程で創意工夫が出来るよう意識していく。

その他

- ・食事イベントの企画・実施に努めていきます。
- ・安心して安全な給食提供を実施する為に、厨房内作業をマニュアル化を構築していく。
- ・食事の質を確保しながら、食材費のコントロールを実施します。
- ・安心して安全な給食提供にあたり、厨房機材・厨房設備の管理を事務局と連携し、管理に努めます。

栄養年間行事予定

食 事

4月	12日	新春弁当
	29日	昭和の日
5月	5日	端午の節句
	14日	母の日
6月	18日	父の日
7月	17日	海の日
	30日	土用の丑の日①
8月	7日	七夕
	11日	山の日
9月	18日	敬老の日
	23日	秋分の日
	29日	中秋の名月(十五夜)
10月	9日	スポーツの日
	31日	ハロウィン
11月	3日	文化の日
	23日	勤労感謝の日
12月	22日	冬至
	24日	クリスマスイブ
	25日	クリスマス
	31日	大晦日
1月	1日	元旦
	2・3日	三が日メニュー
	7日	七草
	8日	成人の日
	11日	鏡開き

2月	3日	節分
	11日	建国記念日
	14日	バレンタインデー
	23日	天皇誕生日
3月	3日	端午の節句
	14日	ホワイトデー
	20日	春分の日

数値目標

	えぞりすの杜	かっこうの杜
入居者定員	50 名	29 名
稼働率	96.0 %	96.0 %
延べ入居者数	17,520 名	10,162 名
一日平均入居者数	48 名	27.8 名
稼働日数	365 日	365 日
単価(一人一日当たり)	14,343 円	14,642 円
総収入	251,289,360	149,015,568 円

【英生塾】

高齢化が進む社会の中で、介護職員に対するニーズは多様化・高度化が求められています。また、介護職員の人材不足が問題となると同時に知識・技能を身に付け、人間性豊かな人材の育成が必要となっています。それらに応えるべく福祉人材育成事業として維持継続していく方針であります。

また、高齢者の方が「安心・安全に暮らせる町づくり」を目標に、福祉人材の地域への還元、地域住民の方が抱える医療・介護に関する相談・悩みなどの窓口として「寺子屋」的存在となれるよう内容の充実化を促進していきます。

【介護職員初任者研修事業目標】

介護職員として従事を考えている方、介護に興味のある方、年齢など問わず、受講希望される方誰もが、知識・技術の習得が行えるよう講義内容の充実化を図るとともに、継続的なフォローアップ体制の構築に努める。

【事業・運営計画】

1. 講座の開催

- ①通学(平日コース)・通学夜間(平日・土曜日コース)併せ状況に応じ最低年2回開催をする。
- ②講座終了後、アンケート調査を行い、研修内容の向上を図る。
- ③講座開講から終了までのスムーズな運営体制をより効果的に整える。
- ④講座修了者のフォローアップ体制の充実化を図る。
- ⑤監督官庁、関連所轄の指導協力を仰ぎ、問題点等の改善に努める。
- ⑥指定基準を遵守した事業運営を実践する。

【介護福祉士実務者研修事業目標】

要介護高齢者及び障がい者の自立支援に資するケアを実践する介護福祉士の養成を目指し、介護福祉士として必要な専門的な知識・技術の習得、及び福祉の理念を学び、地域福祉の担い手として受講者の介護福祉士取得の支援をすることで、広く地域社会の貢献に努める。

【事業・運営計画】

1. 講座の開催

- ①通信課程で、年3回開催する。
- ②講師間の情報共有を基に、スムーズな講義の運営を図る。
- ③スクーリングの協力体制を整え、受講生の実践的指導に努める。
- ④講座修了者のフォローアップ体制の充実を図る。
- ⑤法人全体における情報共有・連携を促進する。
- ⑥講座終了後、アンケート調査を実施し研修内容の改善向上を図る。
- ⑦通信課程受講生の講義において、スムーズな運営システムの構築と確認・見直しを定期的実施する。
- ⑧受講生のキャリアアップのため、多面的なサポート体制を整える。
- ⑨監督官庁、関連所轄の指導協力を仰ぎ、問題点等の改善整備に努める。
- ⑩指定基準に準じた事業運営を実践する。

5.短期入所生活介護事業 ショートステイ くまげら

ユニット目標 「多職種やご家族様との繋がりを大切にし、利用者様の心身状態の維持・向上に努める」

【基本方針】

- ・利用者様やご家族様、多職種とのコミュニケーションを図り、情報共有や統一したケアを提供する事により、生活の継続をできるよう努めます。
- ・利用者様が行事やレクリエーションを通し交流を深める事で心身状態の維持・向上、稼働率維持に繋がっていきます。

【実施内容】

＜心身状態の維持向上に向けて＞

- ・毎朝のバイタル測定・午後の検温を行い、体調面の変化を観察する。
- ・レクリエーションの実施、余暇活動の充実を図り、気分転換のできる環境作りを行う。
- ・日々の手洗いや消毒・換気等の感染予防対策を意識し健康維持に努める。

＜統一したケアを行って行く為に＞

- ・カンファレンスやユニット会議でケアの支援方法の検討を行う。
- ・個別ケア表の作成・更新を行う。
- ・コミュニケーションを意識し、意見や交流しやすい雰囲気作りに努める。

＜ご家族様・多職種との連携＞

- ・退居時のお手紙、長期利用者様への「くまげら通信」を活用し、ご家族様へ情報を提供する。
- ・利用中の行事やレクリエーションの様子を写真にしてお伝えしていく。
- ・事前情報や既往歴を確認・把握し多職種との連携を図る。

	ショートステイ
入居者定員	10 名
稼働率	85 %
延べ入居者数	3,103 名
一日平均入居者数	8.5 名
稼働日数	365 日
単価(一人一日当たり)	13,631 円
総収入	42,296,993 円

7. 小規模保育事業

ふくろうの森・ぞうさんハウス・あかとんぼの森

【基本方針】

一人一人の子供の成長発達を見極め、信頼と安心感を持ってもらえる保育を目指します。

【保育理念】

子供一人ひとりの人権や個性・主体性を尊重した保育を基本とし、子どもの最善の利益のために、豊かな心と身体を育む、ゆったりとした保育に努めます。

	ふくろうの森	ぞうさんハウス	あかとんぼの森
園児定員	19 名	15 名	15 名
稼働率	98.0 %	98.0 %	98.0 %
延べ園児数	223 名	176 名	176 名
1月平均入所者数	18.6 名	14.7 名	14.7 名
稼働日数	日	日	日
単価(一人一月当たり)	161,800 円	167,600 円	167,600 円
総収入	36,135,000 円	29,565,000 円	29,565,000 円

【運営方針】

保護者・地域と連携しながら、「生きる力」と「情緒の安定」を育てていく。

【保育目標】

1. みんなとなかよくあそべる子
2. ほほ笑んであいさつのできる子
3. 創造力のある子

【具体的な取り組み】

- ・園での日常活動を保護者の方に知ってもらえる場を設けます。
- ・3施設での交流保育を模索します。
- ・3歳以降の保育園、幼稚園と連携し、円滑に子どもが転園出来るよう支援していきます。愛保育園と連携施設契約をしていますが、他の園とも連携施設契約できないか模索します。
- ・3施設合同で職員研修を計画的に実施し、普段接しない保育士同士交流を図り、保育業務の情報交換や相談の場所とし、互いに刺激し合い保育力向上を目指します。
- ・選ばれる保育施設作りを目指し、施設の魅力や情報等外部への発信を積極的に行います。